

## 超臨界流体部会 幹事会・第 29 回部会集会議事録

(幹事会) 日時：平成 27 年 9 月 9 日 (水) 12:00～13:00

場所：北海道大学

出席者 25 名

(部会集会) 日時：平成 27 年 9 月 9 日 (水) 19:00～21:00

場所：ホテル札幌ガーデンパレス

出席者 37 名

### 報告事項

1. 第 14 回サマースクール報告 (資料 1)

東京工業大学 下山先生より、第 14 回サマースクールに関する報告がなされた。

2. 2015 年化学工学年鑑について (資料 2)

竹中工務店 川尻様より、2015 年の化学工学年鑑に関する報告がなされた。

3. 秋季大会シンポジウム報告 (資料 3)

日本大学 保科先生より部会セッションに関して、産業技術総合研究所 古屋様より特別シンポジウムに関する報告がなされた。

4. 共催・協賛事業報告

九州大学 岩井先生より、MTMS2015 (共催事業) に関する報告がなされた。(資料 4)

東北大学 渡邊先生より、フランス・カナダ・日本ワークショップ (協賛事業) に関する報告がなされた。

5. 会員数、会員移動について (資料 5)

事務局より、会員数・会員移動に関して報告がなされた。

6. 共催・協賛事業、関連国際学会について (資料 6)

大島部会長及び各先生方より、資料に記載された協賛事業と関連国際学会に関する情報の提供がなされた。

ISSF2015 に関し、東北大学 渡邊先生より、会議終了後に日本国内の超臨界関係の研究施設を巡るツアーを行う旨の説明がなされた。

ISHA2016 に関し、東北大学 阿尻先生より、要旨の締め切りが 9 月末に延長されており、参加者を募集している旨の説明がなされた。

Wasteeng2016 に関し、東北大学 渡邊先生より、要旨の締め切りが 9 月 15 日に延長されている旨の説明がなされた。

産業技術総合研究所 川崎様より、European Meeting on Supercritical Fluids に関する情報提供がなされた。

#### 審議事項

1. 超臨界流体基礎セミナーの開催について（資料 7）

大島部会長より、超臨界流体基礎セミナーの開催に関する提案がなされ、承認された。

2. 部会 CT 賞について

大島部会長より、部会 CT 賞に東京工業大学 下山先生を推薦する提案がなされ、承認された。

3. 超臨界流体部会勲功賞について（資料 8）

大島部会長より、部会勲功賞の規則に関する説明、及び受賞候補者に東北大学 佐藤様を推薦する提案がなされ、それぞれ承認された。

4. 最近の化学工学講習会 65「物性推算とその応用」協賛について（資料 9）

日本大学 松田先生より、上記行事に関する協賛の提案がなされ、承認された。

5. その他

東北大学 阿尻先生より、来年度部会継続申請の年を迎えるにあたり、本部会の大きな組織改革を含め、議論が必要との議案提供がなされた。これについて、大島部会長より、部会活性化のための方針や具体的な提案を幹事・部会員から積極的に上げてもらいながら、引き続き議論を進めたいと考えている旨の発言があった。また、相澤副部会長より、阿尻前部会長の任期になされた部会活性化策の効果を見定めること、また活性化策をすでに行っていることを本部に主張することが必要との意見があった。

## 超臨界流体部会 幹事会・第 29 回部会集会資料

(幹事会)

日時：平成 27 年 9 月 9 日 (水) 12:00-13:00

場所：北海道大学

(部会集会)

日時：平成 27 年 9 月 9 日 (水) 19:00-21:00

場所：ホテル札幌ガーデンパレス

### 報告事項

- |    |                    |      |
|----|--------------------|------|
| 1. | 第 14 回サマースクール報告    | 資料 1 |
| 2. | 2015 年化学工学年鑑について   | 資料 2 |
| 3. | 秋季大会シンポジウム報告       | 資料 3 |
| 4. | 共催・協賛事業報告          | 資料 4 |
| 5. | 会員数、会員移動について       | 資料 5 |
| 6. | 共催・協賛事業、関連国際学会について | 資料 6 |
| 7. | その他                |      |

### 審議事項

- |    |                                |      |
|----|--------------------------------|------|
| 1. | 超臨界流体基礎セミナーの開催について             | 資料 7 |
| 2. | 部会 CT 賞について                    |      |
| 3. | 超臨界流体部会勲功賞について                 | 資料 8 |
| 4. | 最近の化学工学講習会 65「物性推算とその応用」協賛について | 資料 9 |
| 5. | その他                            |      |

## 資料1 超臨界流体部会第14回サマースクールに関する報告

---

「超臨界流体を利用した材料・合成技術～物性の把握から材料設計・評価まで～」

日時：平成27年8月10日（月）13:00～11日（火）12:00

場所：クロスウェーブ船橋

オーガナイザー 下山 裕介（東京工業大学）（敬称略）

8月10日（月）

「中性子線を用いた流通式超臨界水熱合成装置における

超臨界水-室温水の混合状態の可視化」

東北大学 高見誠一

「超臨界二酸化炭素中における拡散係数」

金沢大学 東 秀憲

「超臨界流体製膜法（SCFD）のプロセス設計に向けた基礎物性；

原料溶解度と拡散係数」

東京大学 百瀬 健

「超臨界流体を用いたメタボローム解析技術の開発」

九州大学 馬場 健史

交流座談会「私の研究戦略」

東京工業大学 下山 裕介，東北大学 筈居 高明

8月11日（火）

「水を利用したキチンナノファイバー調製とアミノ糖誘導体合成」

信州大学 長田 光正

「グリコール溶媒中でのソルボサーマル反応を利用した金属酸化物ナノ結晶の合成」

京都大学 細川 三郎

「超臨界二酸化炭素を用いた高分子固体中での反応

－ポリオレフィン系複合体の調製と両末端二重結合性PPの官能基化－」

日本大学 星 徹

「超臨界乾燥カーボンエアロゲルの合成とバイオFC触媒への応用」

豊田中央研究所 若山 博昭

参加人数 49名（うち講師8名、一般4名、学生10名）

## 資料2 2015年化学工学年鑑について

---

年鑑取りまとめ委員 川尻 聡（竹中工務店）（敬称略）

執筆者

1. 超臨界流体全般 川尻 聡（竹中工務店）
2. 基礎物性 竹林 良浩（産業技術総合研究所）
3. 材料・合成 下山 裕介（東京工業大学）
4. バイオマス・天然化合物 神田 英輝（名古屋大学）、相田 卓（東北大学）
5. エネルギー 岡島 いづみ（静岡大学）

### 資料3 化学工学会第47回秋季大会報告

化学工学会第47回秋季大会／北海道大学 札幌キャンパス

2015年9月9日(水)～11日(金)

#### 部会セッション

「亜臨界・超臨界を利用した最先端技術」

オーガナイザー 保科貴亮(日本大学)・牧野貴至(産総研)・後藤敏晴(日東紡績)

講演数40件(招待講演1件、展望講演3件、学生発表29件)

招待講演(敬称略)

「溶媒和概念の普遍化に基づくソフト分子集合系の自由エネルギー解析」

(松林伸幸・阪大基礎工)

展望講演

「グリーンケミストリーのための代替溶媒の相平衡」 (松田弘幸・日大理工)

「高温高圧水の反応場としての特長とその利用可能性—溶媒効果を軸とした整理」

(藤井達也・産総研)

「水熱法による発光ナノカーボンの合成」

(比江嶋佑介・金沢大)

#### 特別シンポジウム

「ナノフルイド技術とその応用」

オーガナイザー

超臨界流体部会 鈴木明(東北大学) 古屋武(産業技術総合研究所)

材料・界面部会 辻佳子(東京大学)

基礎物性部会 保科貴亮(日本大学)

招待講演13件(企業5件、大学・研究所7件、官公庁1件)(敬称略)

「超濃厚 Nano Fluids とその応用展開—超高濃度ナノフルイド、プリントドエレクトロニクス 3D プリンティング—」

東北大学 阿尻 雅文

「低温から高温まで焼結できる濃厚銅ナノフルイドペースト」

北海道大学 米澤 徹

「透明導電性酸化物ナノインク調製」

東北大学 村松淳司、蟹江 澄志

「機能性素材産業政策の方向性」

経済産業省製造産業局 甲村 長利

「ナノ粒子界面設計と分散挙動の評価と制御」

東京農工大学 神谷 秀博

「産総研におけるナノ材料研究」

産業技術総合研究所 村山 宣光

「高精度粘度測定可能なレオメータの測定機構とその解析事例」

アサヒグループホールディングス(株) 川村 公人

「膜厚変化を利用した粒子分散液塗布膜乾燥過程の解析」

神戸大学 菰田 悦之

「Roll-to-roll 塗布乾燥技術とナノフルイド」

富士フイルム(株) 片桐 良伸

「化粧品製剤における微粒子粉体分散系の評価および制御」 (株)資生堂 那須 昭夫  
「ナノワイヤの合成とフレキシブル・デバイスへの応用」 大阪大学 菅沼 克昭  
「リチウムイオン電池負極材の開発動向と性能向上 ―ナノテクノロジーとの関連について―」 日立化成(株) 西田 達也  
「リチウムイオン電池における電極構造の影響」 日産自動車(株) 伊藤 仁

#### 資料4 共催事業報告

会議名：7th International Symposium on Molecular Thermodynamics and  
Molecular Simulation (MTMS2015)

場所：福岡大学七隈キャンパス

開催日：2015年8月4-7日

参加人数：106名（国内78名、海外28名）

発表数：77件（プレナリー講演1件、キーノート講演5件、招待講演9件、口頭発表12件、ポスター発表50件）

#### 資料5 会員数・会員移動（平成27年4月から平成27年9月5日）

会員数 442名（平成27年9月5日現在）

|      |        |      |        |       |
|------|--------|------|--------|-------|
| 会員内訳 | 名誉会員   | 4名   | 部会法人会員 | 6社13名 |
|      | 部会個人会員 | 290名 | 法人賛助会員 | 2社4名  |
|      | 個人賛助会員 | 24名  | 学生会員   | 109名  |

（会員移動）

##### 入会

| 種別 | 氏名     | 所属               | 入会日     |
|----|--------|------------------|---------|
| 個人 | 佐野 恭平  | 月島環境エンジニアリング株式会社 | 2015年3月 |
| 個人 | 諸富 達夫  | (株)クラレ           | 2015年3月 |
| 個人 | 木原 伸一  | 広島大学大学院          | 2015年4月 |
| 学生 | 舘野 巧   | 日本大学大学院          | 2015年5月 |
| 学生 | 洞 俊貴   | 東北大学大学院          | 2015年5月 |
| 学生 | 小田 絵里佳 | 東北大学大学院          | 2015年5月 |
| 学生 | 伊東 亮磨  | 東北大学大学院          | 2015年5月 |
| 学生 | 中本 雄介  | 静岡大学大学院          | 2015年6月 |
| 学生 | 大山 和敬  | 静岡大学             | 2015年6月 |
| 学生 | 小野 優太郎 |                  | 2015年6月 |
| 学生 | 内藤 壮勘  |                  | 2015年6月 |
| 学生 | 宮嶋 篤海  | 東北大学             | 2015年6月 |

|    |        |                   |         |
|----|--------|-------------------|---------|
| 学生 | 濱野 裕一郎 |                   | 2015年6月 |
| 学生 | 小澤 健太  | 東北大学              | 2015年6月 |
| 学生 | 安井 容二  | 東北大学              | 2015年6月 |
| 学生 | 曾 涛    | 名古屋大学             | 2015年6月 |
| 個人 | 多田 雅史  | 名古屋技術士事務所         | 2015年6月 |
| 個人 | 上野 裕   | マルボシ酢株式会社         | 2015年7月 |
| 学生 | 米谷 証哉  | 東京理科大学            | 2015年7月 |
| 学生 | 須藤 千尋  |                   | 2015年7月 |
| 学生 | 阿部 光平  |                   | 2015年7月 |
| 学生 | 齋藤 駿汰  | 東京理科大学 大竹研究室      | 2015年7月 |
| 個人 | 長尾 育弘  | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 | 2015年7月 |
| 学生 | 平山 泰生  | 九州大学大学院 化学システム工学科 | 2015年7月 |
| 学生 | 宮崎 祐輔  | 九州大学              | 2015年7月 |
| 個人 | 伊藤 康孝  | ダイダン株式会社          | 2015年8月 |
| 個人 | 壺内 健介  | 京都大学              | 2015年8月 |
| 学生 | 澤田 彩   | 東京理科大学大学院         | 2015年8月 |

#### 退会

| 種別 | 氏名      | 所属           | 退会日     |
|----|---------|--------------|---------|
| 個人 | 山本 健二   | 国立国際医療研究センター | 2015年3月 |
| 個人 | 白井 誠之   | 岩手大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 宮本 明    | 東北大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 橋本 吉晃   | 東北大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 清水 太一   | 東北大学         | 2015年3月 |
| 学生 | 中村 崇晃   | 東北大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 松田 詩穂   | 東北大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 加藤 彩    | 東北大学         | 2015年3月 |
| 学生 | 宮武 知己   | 東北大学         | 2015年3月 |
| 学生 | 佐々木 ひかり | 東北大学         | 2015年3月 |
| 学生 | 福井 啓祐   | 東京大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 川田 寛人   | 東京大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 平中 幸樹   | 東京理科大学大学院    | 2015年3月 |
| 学生 | 梅干野 敦   | 東京理科大学大学院    | 2015年3月 |
| 学生 | 田中 健太   | 東京理科大学大学院    | 2015年3月 |
| 学生 | 山地 雄平   | 東京理科大学大学院    | 2015年3月 |
| 学生 | 松本 翔    | 日本大学         | 2015年3月 |

|    |        |              |         |
|----|--------|--------------|---------|
| 個人 | 佐野 恭平  | 信州大学         | 2015年3月 |
| 学生 | 五明 幹大  | 静岡大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 佐藤 仲弘  | 光産業創成大学院大学   | 2015年3月 |
| 学生 | 北口 翔太  | 京都大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 佐藤 将   | 京都大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 谷口 一生  | 九州大学大学院      | 2015年3月 |
| 学生 | 鮫島 翔   | 九州大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 相田 哲夫  | 近畿大学         | 2015年3月 |
| 個人 | 吉田 隆   | (株)エヌ・ティー・エス | 2015年3月 |
| 個人 | 池元 俊   | 三井化学(株)      | 2015年3月 |
| 個人 | 松村 健太郎 | 名古屋大学大学院     | 2015年4月 |
| 個人 | 榎本 大貴  | 東北大学         | 2015年7月 |

#### 資料 6 共催・協賛事業、関連国際学会

---

(協賛事業)

・第56回高圧討論会

主催：日本高圧力学会

日時：平成27年11月10日(火) - 12日(木)

会場：アステールプラザ (広島県中区加古町4-17)

HP：[www.highpressure.jp/new/56forum/](http://www.highpressure.jp/new/56forum/)

・第46回 Continuing Education シリーズ講習会

主催：化学工学会関東支部

日時：平成27年11月30日(火)

会場：東京大学本郷浅野キャンパス 武田先端知ビル 5F 武田ホール

HP：[www.scej-kt.org](http://www.scej-kt.org)

(関連国際学会)

・11th International Symposium on Supercritical Fluids Incorporating with Supergreen 2015

Dates: October 11–14, 2015

Venue: Global Convention Plaza, Seoul, The Republic of Korea

Conference HP: [www.issf2015.com/](http://www.issf2015.com/)

・World Engineering Conference and Convention (WECFC2015)

Dates: November 28–December 4, 2015



Venue: Kyoto International Conference Center, Kyoto, Japan

Conference HP: [www.wfeo.net/events/wecc-2015-world-engineering-conference-and-convention/](http://www.wfeo.net/events/wecc-2015-world-engineering-conference-and-convention/)

• PACIFICHEM 2015

Dates: December 15–20, 2015

Venue: Honolulu, Hawaii, USA

Conference HP: [www.pacificchem.org/](http://www.pacificchem.org/)

• ISHA2016

Dates: January 17–20, 2016

Venue: Tainan, Taiwan

Final date to submit abstracts: September 30, 2015

Conference HP: [isha2016.web2.ncku.edu.tw/bin/home.php](http://isha2016.web2.ncku.edu.tw/bin/home.php)

• 6th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorisation and  
2nd WasteEng Summer School

Dates: May 23–26, 2016

Venue: Albi, France

Deadline for abstracts submission: September 15, 2015

Conference HP: [www.wasteeng2016.org/](http://www.wasteeng2016.org/)

#### 資料 7 超臨界流体基礎セミナーの開催について

---

大学や企業において超臨界研究の経験が浅い若手研究者や、新たに超臨界の研究を始めることを考えている技術者向けに、「超臨界流体入門」(丸善)をテキストとして、超臨界流体技術の基礎についてわかりやすく解説するセミナーを開催する。超臨界流体の特徴や物性、代表的な応用技術、装置設計や実験法、安全などについて、各分野で活躍する専門家(テキスト執筆者が中心)が解説する。

##### 主な講習内容

##### I. 物性

代表的な超臨界流体の物性の特徴、状態方程式、物性データの利用法とその推算法。

##### II. 代表的な応用技術

超臨界の特徴を利用した応用技術の解説(分離・抽出、水熱合成、バイオマス利用)。

##### III. 実験方法、装置設計

材料選定や送液方法などを含む、超臨界流体を用いる実験の装置設計とその注意点。

##### IV. 安全

実験上の注意点、法律、典型的な事故事例などの紹介。

|      |   |                      |                |
|------|---|----------------------|----------------|
| 開催日時 | : | 平成 28 年 1 月 25 日 (月) | 午前 10 時～午後 5 時 |
| 場所   | : | 東京大学山上会館             | 大会議室           |
| 参加費  | : | 部会員 (一般)             | 1 万 5 千円       |
|      |   | 部会員 (法人)             | 2 万円           |
|      |   | 部会員 (学生)             | 2 千円           |
|      |   | 非部会員 (一般)            | 3 万円           |
|      |   | 非部会員 (学生)            | 5 千円           |

終了後に、同会館の地下食堂にて、講師を囲んだ懇親会を予定しています (参加費 3 千円)。

#### プログラム

|           |                   |                                    |
|-----------|-------------------|------------------------------------|
| 10 時      | 開会挨拶              | 化学工学会超臨界流体部会 大島義人部会長               |
| 10 時 10 分 | 超臨界流体の特徴          | (東北大学工学研究科附属 超臨界溶媒工学研究センター 猪股宏教授)  |
| 10 時 55 分 | 超臨界流体の物性の実測と推算    | (日本大学工学部 児玉大輔准教授)                  |
|           | 休憩                |                                    |
| 13 時      | 超臨界流体を利用した分離・抽出技術 | (名古屋大学大学院工学研究科 後藤元信教授)             |
| 13 時 45 分 | 超臨界水を利用した水熱合成技術   | (東北大学原子分子材料科学高等研究機構 阿尻雅文教授)        |
| 14 時 30 分 | 超臨界流体を利用したバイオマス技術 | (東北大学工学研究科附属 超臨界溶媒工学研究センター 渡邊賢准教授) |
|           | 休憩                |                                    |
| 15 時 30 分 | 実験装置設計に関する留意点     | (産業技術総合研究所化学プロセス研究部門 川崎慎一朗氏)       |
| 16 時 15 分 | 超臨界流体の安全          | (東京大学大学院新領域創成科学研究科 大島義人教授)         |
| 17 時      | 閉会                |                                    |

#### 資料 8 超臨界流体部会勲功賞について

---

超臨界流体部会勲功賞規則

平成 27 年 8 月 10 日 制定

第 1 条（目的）

超臨界流体部会（以下、「部会」という。）は、部会の活性化において顕著な業績を上げた者、もしくは部会の庶務活動において貢献が大きい者に、超臨界流体部会勲功賞を贈呈する。

第 2 条（選考方法）

受賞者は、部会員から推薦があった候補者について、部会長が部会幹事会の議を経て決定する。推薦者は、その推薦理由を部会幹事会において口頭または文書で説明しなければならない。

第 3 条（表彰方法）

表彰は部会集会にて行うこととし、受賞者には賞状および副賞を贈呈する。

第 4 条（規則の変更）

この規則の変更は、部会幹事会の承認を経て実施する。

# 最近の化学工学講習会 65

## 「物性推算とその応用」

主催 公益社団法人 化学工学会関東支部  
 共催 基礎物性部会  
 協賛 超臨界流体部会, 材料界面部会 晶析技術分科会, 粒子・  
 流体プロセス部会, 分離プロセス部会, 日本粉体工業技  
 術協会 晶析分科会, 分離技術会, 日本プロセス化学会,  
 開発型企業の会 (予定)

最近の化学工学講習会 65「物性推算とその応用」では、プロセス産業における基盤である「物性」に着目し、その基礎から、物性推算を活用してプロセス産業の経済的な価値を高める方法について紹介します。

初日(1/21)は「導入編」と「基礎編」と題して、これまでの物性測定法の進歩、物性データ集積の充実、および物性推算法の進歩とそれに伴う応用範囲の拡大について解説します。2日目(1/22)には「産業応用編」として、エネルギー産業・石油化学・セメント・医薬などの各分野において、シミュレータで物性推算を行うことによって得られるプロセスの優位性や経済効果などについて紹介します。

石油・ガス・化学・医薬などの各種プロセス産業で働くプロセス系エンジニア、プロセス産業における技術系管理職、化学工学系大学院学生などの方にとって非常に役立つ内容となっております。奮ってお申込みいただきますようお願い申し上げます。どちらか1日のみの参加も可能です。

開催日：2016年1月21日(木) 9:30~17:10, 22日(金) 9:30~17:00

会場：東京理科大学 森戸記念館 1階第2フォーラム (〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2)

地図：<http://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

募集人員：80名

参加費：2日間参加の場合：正会員(含共催団体) 31,000円, 法人会員(含共催団体)の社員 36,000円, 学生会員 10,000円, 会員外 46,000円, サロンメンバー@@,@@@円

1日のみ参加の場合：正会員(含共催団体) 18,000円, 法人会員(含共催団体)の社員 23,000円, 学生会員 8,000円, 会員外 33,000円, サロンメンバー@@,@@@円

※ いずれの場合も参加費にはテキスト代、消費税が含まれます。

申込方法：・Web申込：関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) 「最近の化学工学講習会 65」をクリックし、「申込フォーム」よりお申込み下さい。又は申込書に所定事項を記入のうえ、事前に下記までお送り下さい。  
 ・Fax, E-mailによる申込：下記関東支部事務局宛、チラシの申込書に必要事項をご記入の上お送り下さい。  
 (化学工学会関東支部 FAX: 03-3943-3530, Email: info@scej-kt.org)

支払方法：受付後お送りする振替用紙にて事前にお振込みください。当日会場での現金支払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費をご請求させていただきます。

### プログラム

#### 1月21日(木)「導入編」「基礎編」

開会の挨拶 (9:30-9:35)

企画幹事 埼玉大学 本間 俊司 氏

1. 導入編 (9:35-10:25)

(株) 応用物性研究所 大場 茂夫 氏

2. 測定法と測定精度：平衡物性 (10:25-11:15)

日本大学 栗原 清文 氏

～ 11:15-11:25 休憩 ～

3. 数学的表現 (モデル)：グループ寄与法 (11:25-12:15)

日本大学 栃木 勝己 氏

～ 12:15-13:20 昼食・休憩 ～

4. Helmholtz エネルギー型状態式 (NIST, Wagner) (13:20-14:10)

九州産業大学 赤坂 亮 氏

5. エネルギー産業：冷媒 (14:10-15:00)

日本大学 田中 勝之 氏

～ 15:00-15:10 休憩 ～

6. 数学的表現 (モデル)：量子化学計算を利用した相平衡の推算 (15:10-16:00)

東京工業大学 下山 裕介 氏

7. シミュレータによる物性推算法・シミュレータ未登録成分の推算方法 (16:00-16:50)

東洋エンジニアリング(株) 佐々木 正和 氏

～ 16:50-17:10 総括質疑 ～

～ 17:30-19:00 交流会 ～

**1月22日(金)「産業応用編」**

1. エネルギー産業：液化天然ガス (09:30-10:20)

千代田化工建設(株) 田口 智将 氏

2. エネルギー産業：ハイドレート (10:20-11:10)

産業総合技術研究所 清野 文雄 氏

～ 11:10-11:20 休憩 ～

3. 石油化学 (11:10-12:00)

三井化学(株) 岡本 悦郎 氏

～ 12:10-13:10 昼食・休憩 ～

4. セメント製造プロセスシミュレーションと熱力学物性 (13:10-14:00)

宇部興産(株) 横田 守久 氏

5. 医薬品の物性 結晶多形の熱力学的安定性評価 (14:00-14:50)

エーザイ(株) 南園 拓真 氏

～ 14:50-15:00 休憩 ～

6. アスペンテック社プロセスシミュレータの物性推算システム (15:00-15:50)

アスペンテックジャパン 鈴木 照彦 氏

7. プロセスシミュレーションにおける次世代物性推算法の活用状況 (15:50-16:40)

シュナイダーエレクトリック 広浜 誠也 氏

～ 16:40-17:00 総括質疑 ～

以上

公益社団法人化学工学会関東支部行き

FAX:03-3943-3530

受理日

NO.

| 開催日 2016/1/21・22            |      | 会 員 資 格        | 2日間参加費                                   | 1日のみの参加費                               |
|-----------------------------|------|----------------|--|--|
| 「最近の化学工学講習会65」<br>参 加 申 込 書 |      | 正会員(含協賛団体)     | 31,000円                                  | 18,000円                                |
|                             |      | 法人会員(含協賛団体)の社員 | 36,000円                                  | 23,000円                                |
|                             |      | 学 生 会 員        | 10,000円                                  | 8,000円                                 |
|                             |      | 会 員 外          | 46,000円                                  | 33,000円                                |
|                             |      | フリガナ<br>参加者氏名  | 参加希望日<br>(1日のみ参加の場合、参加希望日<br>も○でお囲み下さい。) | ・2日間参加する。<br>・1日のみ参加 参加希望日 (1/21・1/22) |
| 請求書                         | 要・不要 |                |  |  |
| 勤務先(所属まで)                   |      |                |  |  |
| 所在地                         | 〒 -  |                |  |  |
| E-mail :                    |      | TEL :          | FAX :                                    |  |